

納税表彰

厳原税務署長納税表彰



表彰された方々

平成17年度の税務署長納税表彰及び感謝状贈呈式が11月10日、厳原町で開催され、多年にわたる申告納税制度の普及、発展並びに納税思想の向上に功績をあげたとして、厳原税務署長より次の方5名に対し表彰状、感謝状が贈られました。

(敬称略)

【税務署長納税表彰受賞者】

○坂本好徳

(厳原：社団法人対馬法人

会青年部会長)

○長野忠一

(美津島：厳原税務署管内税

務連絡協議会長)

【税務署長感謝状受贈者】

○太田妙子

(厳原：社団法人対馬法人会

女性部会長)

○対馬市美津島町有線テレビ

【青色申告制度施行五十五周年記念税務署長感謝状受贈者】

長岡豊明

(豊玉：対馬市商工会豊玉支

所長 経営指導員)

福岡国税局長納税表彰



齋藤利光さん

また、団体の活動を通じて納税意識の高揚に功績があったとして、豊玉の齋藤利光

(社団法人対馬法人会副会長、社団法人長崎県法人会連合会

理事、豊玉町青色申告会長)

さんが、平成17年度福岡国税局長納税表彰を受賞しました。

西川史子 健康を語る = 文化講演会



テレビ等でおなじみの医師西川史子さんによる文化講演会「女医が語るおもしろ健康講話」が、11月3日、厳原町で開催され、主婦を中心に約150名が受講しました。この講演会は、税を考える週間行事の一環として行われたもので、主催したのは税を通して社会の健全な発展に貢献しようとする社団法人対馬法人会です。医師になって10年という西

川さんは、神奈川県出身で平成8年にはミス日本を受賞した経歴もっています。対馬に来たのは初めてということ、とても自然が豊かで、きれいなところですね」と印象を語っていました。講演では、医師としての幅広い知識と経験から、長生きする秘訣や、ダイエットのコツ、医療ミスに遭わないための秘訣等を、時折笑い話を交えながら講演されました。

税に関する作文で 全国入選

一宮聡恵さん(厳原中1年)



平成17年度の税に関する作文の入選作が厳原税務署から発表されました。

同税務署管内の受賞者の中で、最高賞を受賞したのは厳原中学校1年の一宮聡恵さん。

【高校生の作文】

県租税教育推進協議会代表

幹事賞

税について

平間裕太郎(対馬高校3年)

厳原税務署長賞

私達の税金

山崎 陽(上対馬高校1年)

未来の税について

小松絵美香(対馬高校2年)

長崎県地方局長賞

税と未来の日本社会

川本優委(上対馬高校2年)

応募状況(厳原税務署管内)

中学生の作文

(学校数16校、作品数347編)

高校生の作文

(学校数3校、作品数348編)

【中学生の作文】

県納税貯蓄組合連合会長賞

税について

平間美香(久田中3年)

厳原税務署長賞

税金の大切さ

黒岩 輝(厳原中3年)

対馬市長賞

税金を見直して

吉富 瞳(豊中3年)

対馬地域農林業活性化大会

直売所を主体とした地産地消による対馬農林業の活性化へ向けて



大石憲一さん…県知事賞
大石勝彦さん…対馬地域農業振興協議会長賞に輝く！



大石憲一さん(左)と大石勝彦さん(右)

11月10日、対馬地域農業振興協議会の主催による平成17年度対馬地域農林業活性化大会が豊玉町の対馬市公会堂で開催され、市内の各地から認定農業者をはじめ農林業者約200名が参加。直売所を主体とした地産地消による対馬農林業の活性化をテーマに、島内の直売活動にかかる問題点等を学びました。

対馬地域では農家の減少、高齢化が進行する中、女性農業者を中心に直売所による地産地消の取り組みが盛んになってきていますが、品揃えや品質管理等多くの問題点を抱えています。

大会では直売所の品質管理と今後のあり方について、農業関連で多くの業績を持つマーケティング・プロデューサーの平岡豊氏(農学博士)による講演が行われ、参加者は真剣に耳を傾けていました。

長崎県農業賞

同大会の中で、地域の特性を活かした創意と工夫により魅力ある経営活動等に取り組んでいる農業者に贈られる長崎県農業賞受賞者が発表され、上県町の大石憲一さんが長崎県農業賞(経営体部門)で県知事賞を、峰町の大石勝彦さんが対馬地域農業振興協議会長賞をそれぞれ獲得し表彰されました。

県知事賞

大石憲一さん(上県町…36歳)
受賞概要: 水稲栽培の大型機械化体系の確立、徹底した省力化対策の実施など。

対馬地域農業振興協議会長賞

大石勝彦さん(峰町…50歳)
受賞概要: 夏場の生しいたけ栽培確立や、古ぼだ木の有効活用等の実施など。

小学生が「May I help you?」

英語活動研究発表会 厳原北小学校

小学校における英語活動の研究・実践に取り組んできた厳原北小学校(波田ミヤ子校長)で11月11日、これまでの活動の成果を報告する研究発表会が同校で開かれ、県及び市教育委員会、島内外の教師ら60名余りが参加しました。



全体集会の様子

発表会では、全校生徒が一堂に会し英語の歌を歌ったり簡単なゲームを楽しむ全体集会や英語学習の授業が公開されました。

小学3年生の授業「買い物しよう」では、児童達が店員役とお客役にそれぞれ別れ「May I help you?」「はいませ」「I'll take this (これください)」といった基本的な英会話を実践していました。どの児童もとても楽しそうに授業を受けていました。公開授業の後、参加者による研究協議が行われ、小学校における英語学習での問題点や今後の授業における改善点などが熱心に話し合われました。



授業「買い物しよう」で英語で買い物をする児童達

同校は平成15年度に県のトライ・イングリッシュ・スクール事業の実践校として指定を受け、以来「覚える英語」ではなくゲームや遊びの要素を取り入れて、「いつの間にか自然と身に付いてしまう英語」となるように工夫した指導を行ってきたそうです。

灯台記念日表彰
灯火監視協力者へ感謝状

海上保安部は11月1日の「灯台記念日」に、海の安全を守る航路標識の灯火監視協力者として航行援助業務に協力した3名に感謝状を贈りました。(敬称略)

対馬海上保安部長表彰

灯火監視協力者 橋 照吉(錢島灯標)

第七管区海上保安本部長表彰

灯火監視協力者 大山 敬光(竹敷港樽ヶ浜灯台)

灯火監視協力者 小島 勝善(久根浜港東防波堤灯台)

今年の灯台記念日は、明治元年から137周年を迎えます。日本国における西洋技術を用いた灯台の建設は、明治元年の神奈川県横須賀市の観音崎灯台に始まり、灯台業務の開始を記念するため、同灯台起工日である明治元年11月1日にちなんで11月1日を「灯台記念日」と定めています。



表彰を受ける橋照吉さん



小島勝善さん(中央左)と大山敬光さん(中央右)

火災漁船の人命救助者に表彰状



対馬海上保安部より表彰を受けた栗屋さん(中央左)と斉藤さん(中央右)



同じく表彰を受けた西田さん

11月10日、対馬海上保安部で、人命救助表彰が行われ、10月14日に美津島町黒島灯台の北東約4km沖で火災を起こした漁船の船長を協力して救助したとして、美津島町根緒の栗屋弘明さん(45歳)と同町雑知の斉藤達哉さん(33歳)が、本部長表彰を受けました。

また、11月15日には、美津島町漁協東海支所で、10月29日に厳原町耶良崎灯台の南東約12km沖で火災を起こした漁船の船長を救助した美津島町賀谷の西田一正さん(46歳)が本部長表彰を受けました。

未来に残そう青い海・図画コンクール

松尾拓朗くん(第7管区海上保安本部佳作)受賞!



松尾君の受賞作品



海上保安庁が実施した「第6回未来に残そう青い海・図画コンクール」で受賞者の発表が行われました。

対馬からは、小学校低学年の部に135点、高学年の部に155点、中学生の部に69点の応募がありました。どの作品も普段身近に接している対馬の海に対する愛情が感じられます。

この中で、最高賞を受賞したのは峰町の西小学校3年の松尾拓朗くん。「海からゴミが無くなるように!!」という気持ちで描いたそうです。

その他の主な結果

海上保安協会厳原支部長賞

- 小学校低学年の部 3年 溝井沙季さん(鶏鳴小)
- 小学校高学年の部 4年 原口茉佑子さん(鶏鳴小)
- 中学校の部 2年 長尚佳さん(久田中)

海上保安協会比田勝支部長賞

- 小学校低学年の部 1年 三宅 優くん(豊小)
- 小学校高学年の部 5年 吉富 健くん(豊小)
- 中学校の部 3年 村瀬光輔くん(西部中)